

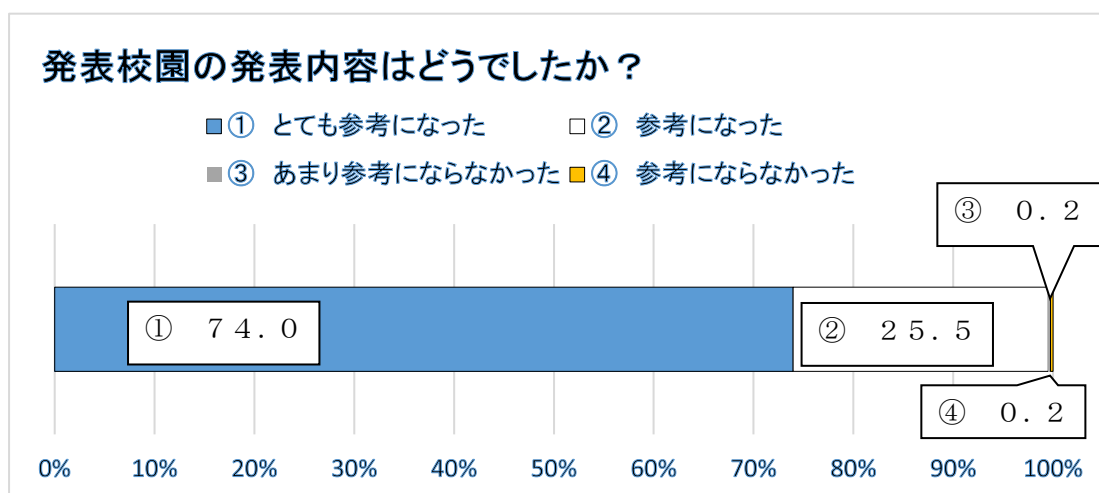
## 令和元年度 香川の教育づくり発表会 会場の様子

### 発表の様子

香川県内の小学校、中学校、幼稚園・こども園、教育委員会職員、保護者等の参加を合わせ、964名の参加がありました。



## 参加者アンケートから



## 参加者からのご意見

- 明確な目標設定と9年間を見通した計画、地域特性を生かした様々な活動、そして何より先生方が目標を理解し共有して進んでいること、大いに参考になりました。評価の在り方や、児童が英語の楽しさを知り、目標、目的を理解している点もとてもよかったです。  
(小学校教員→小・中学校発表校)
- 担任一人では浅い読み取りになり、授業に臨むことの不安も大きい。学年団で教材研究を行える体制が整っていれば、生徒に質の高い安定した道徳の授業を提供できると感じた。中心発問、問い直し、振り返り等といったキーワードで取り組むことで、教師の意識も確実に変わっていくと感じた。  
(中学校教員→中学校発表校)
- タブレットの活用で何度も試せる、見直せるというのは、子どもたちの思考を促すだけでなく、意欲や安心感にもつながると思いました。授業の中で、どこでタブレットを活用し、ノートや板書をどうしていくか考えることが、授業づくりに必要なことだと感じました。  
(小学校教員→小学校発表校)
- 生徒指導部会、人権・同和教育部会、特別活動部会が有機的に働き合い、道徳教育を充実させ、目指す子ども像に近づけていく研究体制が大変参考になりました。また、アセスでの見取りをもとに、各部会や学年団の協働体制づくりをしているところも、私の学校に足りないアプローチの仕方であると感じました。  
(小学校教員→小学校発表校)
- 学習指導過程の5つの中で、付けたい力や子どもたちに合わせて重視するポイントを絞り、授業づくりをされていることで子どもたちが目的や課題意識をもち、主体的に取り組めているのだと思いました。  
(小学校教員→中学校発表校)
- 日頃の書写の授業を見直すきっかけとなりました。「ただひたすら練習する書写の時間」ではなく、「考える、表現に生かす書写の在り方」を学びました。工夫次第で子どもは考え、主体的に学ぶことができるので、本校の教員にも伝え、少しでも実践に生かしたいと思います。  
(小学校教員→教育実践優秀教員)